

総合工学委員会科学的知見の創出に資する可視化分科会
ICT時代の文理融合研究を創出する可視化小委員会
(第25期・第2回)

議事録要旨

日 時： 令和3年9月14日（水）14:30～16:20

会 場： 遠隔会議（主催会場：立命館大学アート・リサーチセンター）

配付資料：

資料1：第24期報告「科学的知見の創出に資する可視化－文理融合研究と新パラダイム策定－」

資料2：日本学術会議第三部「意思の表出等」意見交換会(2021/07/08) 資料

資料3：前回議事録要旨

出席者（敬称略）：

田中（立命大）、加藤（東洋大）、山口（奈文研）、小山田（京大）、李（立命大）、明和（京大）、坂本（神戸大）、鈴木（立命館大）、應矢（京都国際マンガミュージアム）、坂野（NICT）、北川（サイバネット）、安達（シュルード設計）、宮地（東京都市大）、畠中（富士通）、長谷川（立命大）

議事録要旨

(1)前回議事要旨の承認について

- 前回議事録が承認された

(2)調査報告(坂野雄一委員)

- 「光沢知覚機構の可視化と光沢知覚のための可視化」と題して、三次元の物体の知覚と質感の知覚について、光沢感を知覚するメカニズムや立体ディスプレイは光沢感を正確に再現するかについて報告がされた。

(3)次回シンポジウムの開催方針

- 12月に、4小委員会合同で企画して、日本学術会議公開シンポジウムを行い、提言等につなげる。

(4)提言の作成方針について（小山田委員(総合工学委員長)より報告）

- 小山田委員(総合工学委員長)より、日本学術会議の提言のあり方の見直しの議論について、現状の説明があった。

(5)分科会を中心とした、学術変革領域(A)の応募について

- 分科会のメンバ有志を中心に申請が検討されている科研費・学術変革領域研究(A)に当小委員会としても協力していく。

(6)議事要旨の提出に関する委員長一任について

- 承認された

以上